

新たな海洋センター整備に関する基本構想

～ 滝川市 B & G 海洋センター ～

令和 6 年 3 月

滝 川 市

< 目 次 >

序章 基本構想策定の背景と目的

(1) 基本構想策定の目的-----	1
(2) 基本構想の対象施設-----	1
(3) 基本構想の位置づけ-----	1

1. 現状把握、課題整理

(1) 滝川市の概況-----	2
(2) 社会背景や滝川市の上位計画等の関連情報の整理----	5

2. 対象施設の状況

(1) 滝川市B & G海洋センター -----	9
(2) 滝川市子ども科学館（機能集約施設）-----	16
(3) スケートリンク（機能集約施設）-----	18

3. 新たな海洋センター整備に関する基本構想

(1) 新施設整備の基本方針-----	19
(2) 導入機能・施設規模の検討-----	22
(3) 施設機能の概要-----	24
(4) 施設運用イメージ-----	27
(5) 事業計画案の検討-----	28
(6) 概算事業費の想定-----	30
(7) 整備スケジュールの想定-----	31

参考資料1. 先進事例の調査-----	32
---------------------	----

参考資料2. 艇庫・船架台配置イメージ-----	34
--------------------------	----

序 章 基本構想策定の背景と目的

（１）基本構想策定の目的

滝川市B＆G海洋センターは、平成６年に竣工し、海洋スポーツ活動の拠点施設として、近隣市町はもとより、北海道内の小中学生などに広く利用されてきました。また、本施設は、Ｂ＆Ｇ財団の評価において、平成１４年度から２１年連続『特Ａ』の最高評価をいただいている全国唯一の施設であります。

本構想は、令和５年にＢ＆Ｇ財団が設立５０周年を迎え、全国の自治体活性化の一助となる、地域の拠点となる新たな施設づくりを検討していることから、本市社会教育施設との複合化、機能移転などを含めた新たな施設づくりを目指すための整備方針を示すものです。

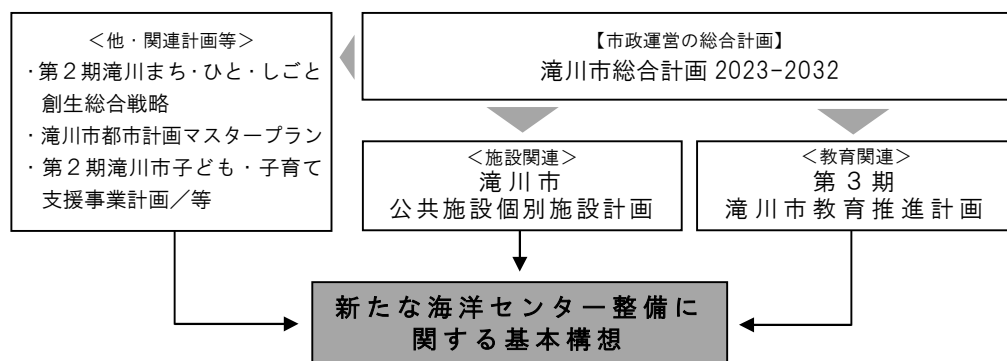
（２）基本構想の対象施設

本構想の対象施設は、滝川市Ｂ＆Ｇ海洋センターと、機能の複合化が可能と考えられる、以下の社会教育施設を対象とします。

改築対象施設	◆滝川市Ｂ＆Ｇ海洋センター
機能集約対象施設	◇滝川市こども科学館 ◇スケートリンク

（３）基本構想の位置づけ

本構想は、滝川市総合計画をはじめとする上位計画のほか、関連計画等との整合を図り策定しました。



1. 現状把握、課題整理

(1) 滝川市の概況

1) 滝川市の位置

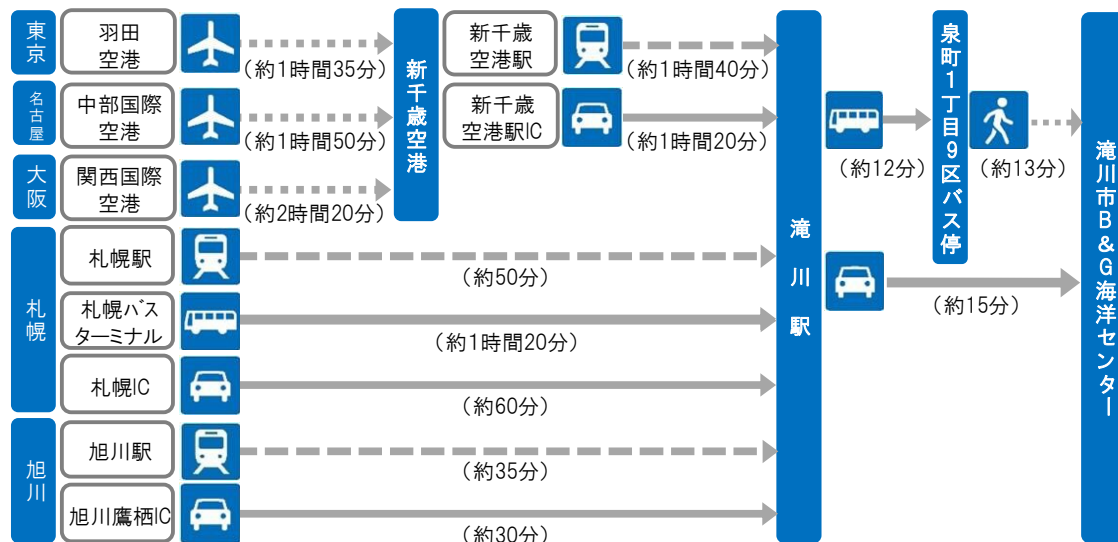
本市は札幌市と旭川市のほぼ中間に位置し、国道12号・38号・451号、北海道縦貫自動車道、北海道旅客鉄道株式会社の函館本線・根室本線が通り、道央・道北・道東・日本海側の主要都市などを結ぶ交通の要衝となっています。



2) 対象施設の位置とアクセス方法

新たな施設の整備場所である、滝川市B&G海洋センターは、滝川市役所等が立地する市街地中心部の北西に位置します。

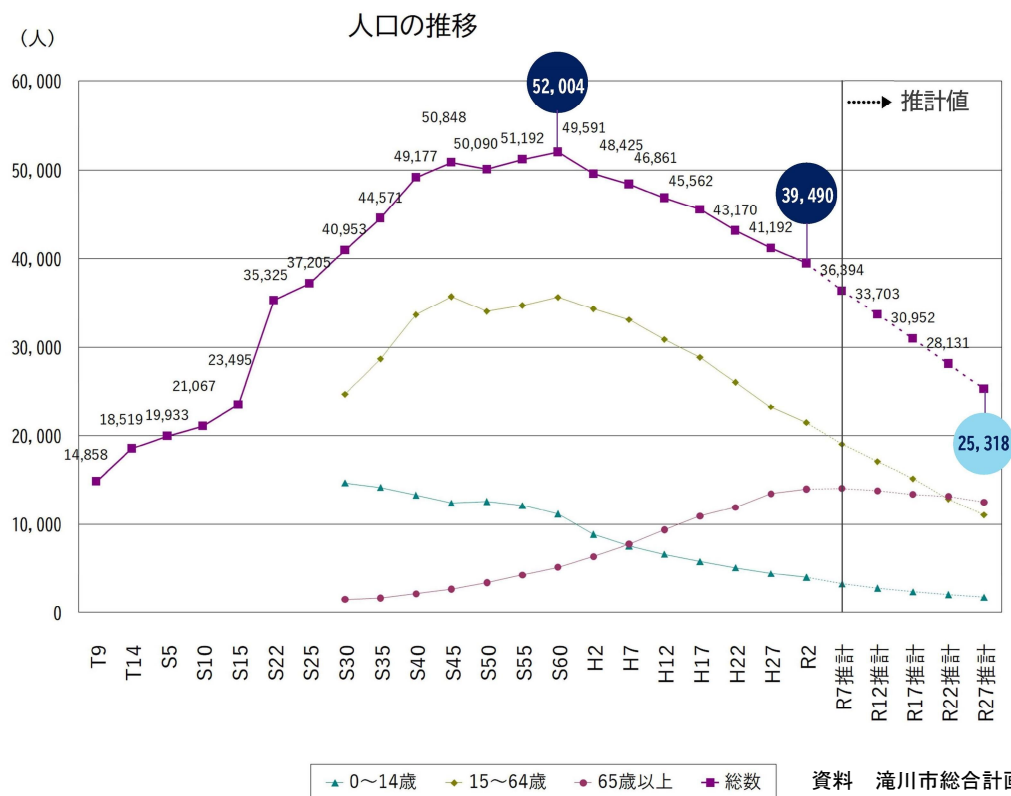
施設へのアクセスは、新千歳空港から本市までがJRで約1時間40分、車で1時間20分となります。札幌から滝川駅まではJRで50分程度、車で1時間程度となります。滝川駅から海洋センターまでは、車（タクシー）の場合は約15分程度、バスの場合は徒歩移動も含め約25分程度となります。



3) 人口の推移

本市は、周辺産炭地・農業地域に支えられながら、交通の要衝としての地勢を活かし、商業・サービス業のまちとして発展し、人口増加を続けていましたが、周辺産炭地域における相次ぐ炭鉱の閉山とそれに伴う関連産業の衰退が要因となり昭和60年の52,004人をピークに人口減少に転じ、令和2年には、39,490人まで減少しています。

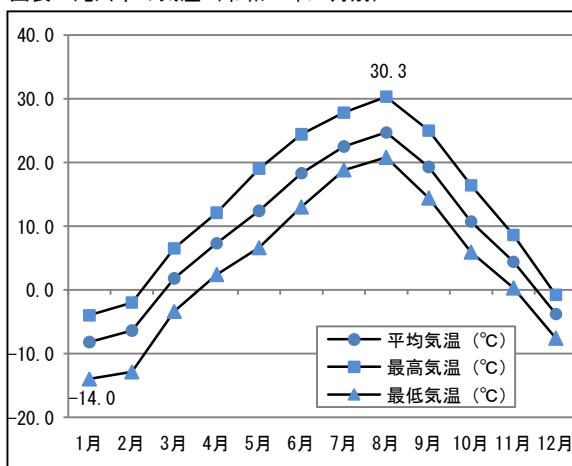
国立社会保障・人口問題研究所によれば、本市の人口は、今後も急速に減少を続け、令和22年(2040年)には、28,000人に、令和42年(2060年)には18,000人になるものと推計されています。



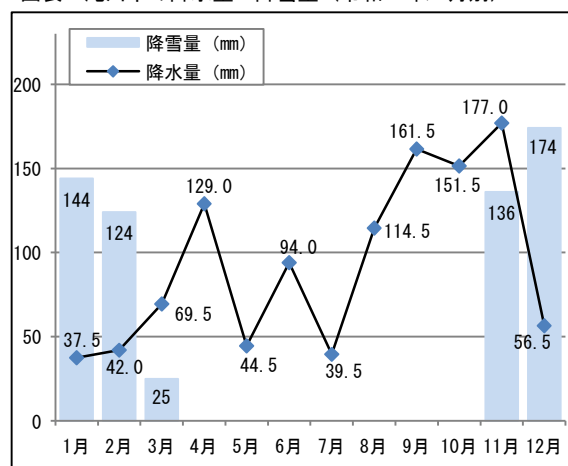
4) 気象

気象状況は、盆地型の気候特性を示しており、夏は最高気温が30℃を越え、冬は最低気温が零下10℃を下回ることもあり、寒暖の差が約40℃以上ある厳しい気象条件です。令和5年度の年間降水量は1,117mm、また、冬期は降雪量が多く合計で603mmとなっています。

図表 滝川市の気温 (令和5年/月別)



図表 滝川市の降水量・降雪量 (令和5年/月別)



資料 国土交通省/気象庁 HP (滝川市 2023 年の気象データ)

5) 周辺施設位置（計画対象・関連施設等）

滝川市B&G海洋センターは、池の前水上公園の中心に位置します。公園内には、市民に人気の温泉施設である「滝川ふれ愛の里」や「コテージ」、夏は道内から多くのキャンパーが集う「滝川キャンプサイト」がある他、近隣には北海道開発局が所管する滝川地区地域防災施設（川の科学館）が立地しています。



※各施設の利用者数は、令和元年度から4年度の期間で最も利用者数の多かった数値を記載。

(2) 社会背景や滝川市の上位計画等の関連情報の整理

新たな施設整備に関連する事項は以下の上位関連計画で位置づけられています。

1) 滝川市総合計画 2023-2032 [令和5年3月]

＜目指すまちの将来像＞

心が育ち 人を紡ぐ いつまでも住み続けたい“ちょうどいい田舎”

＜基本目標1＞安心して子どもを育み、学び、笑顔あふれるまち

施策1 子どもの成長と子育て支援体制の充実	④ <u>子どもが安全で元気に遊べる場所や機会の提供</u> 、児童の放課後の居場所を確保し、健全な成長に向けた取組を推進する。
施策2 学校教育の充実	① <u>地域との連携を強化し、教科横断的な学習の推進や様々な体験プログラムの充実</u> によって地域への愛着や誇りを醸成する。
施策3 生涯学習・文化芸術・スポーツ環境づくり	⑤ <u>全ての市民が日常的にスポーツに親しむ</u> ことができるよう、ライフステージに応じたスポーツ習慣を確立するための環境整備や情報発信、 <u>地域におけるスポーツ人材の育成</u> を推進する。

2) 第2期滝川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 [令和5年1月改訂]

＜具体的な施策＞⑥観光施設魅力向上事業(観光国際課・産業振興課)

「たきかわ菜の花まつり」をはじめとした各種イベントを実施するほか、「たきかわ観光国際スクエア」「道の駅たきかわ」「滝川ふれ愛の里」「たきかわスカイパーク」など集客の核となる施設及び機能を充実させることにより、国内及び外国人観光客の誘客力を高めるほか、都市と農村の交流や物産振興等を通じて、交流人口・関係人口の増加を図ります

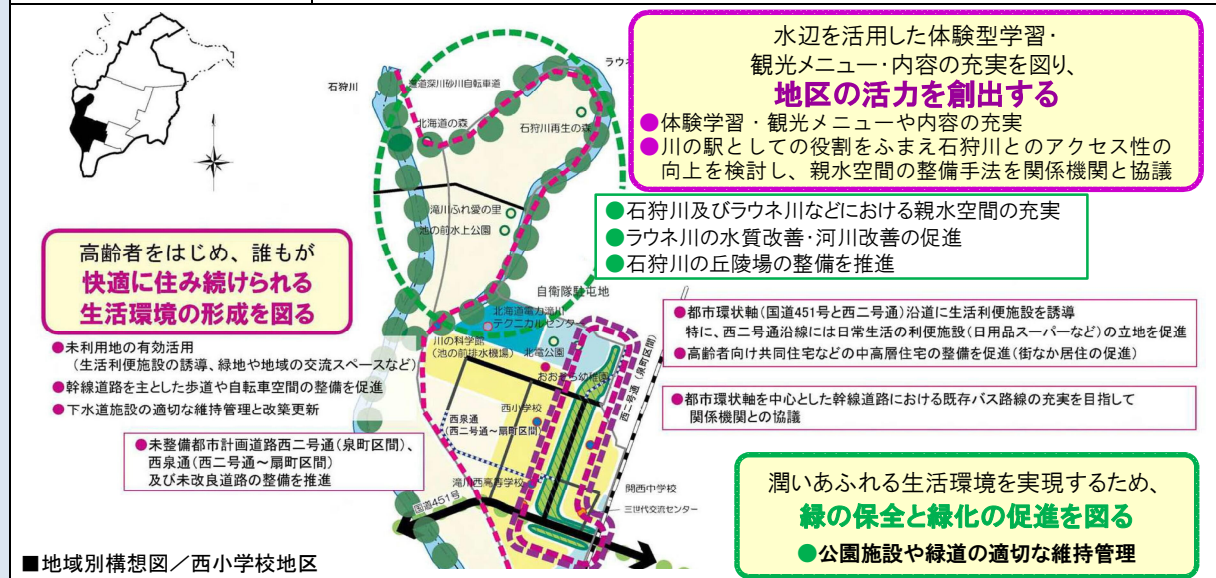
③滝川ふれあいの里

・民間事業者の管理運営のもとリニューアルした「滝川ふれ愛の里」において、新たにグランピングやフリーサイト等を備えたキャンプ場を整備し、パークフィールド72やB&G海洋センターなどの周辺施設とも連携を図り、集客力の向上を目指します。

3) 滝川市都市計画マスタープラン [平成31年3月改訂]

＜分野別構想／7. 河川・下水道＞環境にやさしい都市づくりを支え、市民生活の安全安心、やすらぎを創出

【基本方針】 (2)市民が憩い楽しめる河川	②市民が憩い楽しめる河川 ◆2大河川に囲まれた特性のある地域であることから、 <u>環境教育、市民の憩い、健康づくり</u> など、河川環境を活かした都市づくりを進めます。また、これらを進めるためには、 <u>河川の自然環境を保全</u> していくことが重要であり、 <u>多自然川づくりの推進、周辺緑地の保全</u> を図ります。
【河川の方針】	②河川環境 ◆河川の自然環境保全を図りながら、 <u>環境教育、市民の憩い、健康づくり</u> など、 <u>河川環境を活かした都市づくり</u> を進めます。 ・ラウネ川の水質改善//水質改善のための清掃活動等//水質調査等の環境調査の継続的実施//鳥類や魚類、野生動植物等の生息環境の適切な保全//多自然型工法による整備・改修//石狩川、ラウネ川、銀川等における親水空間の整備//石狩川再生の森(ラウネ川)などの河川における植樹、草刈り活動等の推進//石狩川、空知川流域住民の参加とネットワーク形成を目指した川の駅設置



4) 滝川市公共施設等総合管理計画 [令和4年11月改訂]

1. 公共施設等管理に関する基本方針	(6)ユニバーサルデザイン化の推進方針 ・施設の改修・更新等に際しては、ユニバーサルの視点に立ち、計画的な環境整備に取り組めます。 (7)脱炭素化の推進方針 ・施設の改修・更新等に際しては、脱炭素社会に貢献するため、「太陽光発電の導入」、「建築物における ZEB の実現」、「省エネルギー改修の実現」、「LED 照明の導入」などに取り組めます。 (8)統合や廃止の推進方針 ・厳しい財政状況が予想される中、限られた財源で公共施設の機能の維持・向上を行うため、公共施設の選択と集中を行います。
2. 公共建築物の考え方	(5)文化・スポーツ関連施設 ・施設の有する機能及び総量の最適化を検討し、施設の集約化・複合化の検討を進めます。 

5) 第3期滝川市教育推進計画〔令和5年4月改定〕

本計画は計画期間を令和9年度までとし、子どもの教育等に関し以下を位置づけています。

<基本理念>

- 未来を切り拓く自立型人材の育成
- 誰もが学び続けることができる共生社会の実現

<重点方針>

- ①確かな学力の育成 / ②豊かな心の育成 / ③健やかな体の育成
④生涯学習の推進 / ⑤教育DXの推進

<目標> (※該当施策抜粋／青字)

【目標2】 豊かな心の育成	③体験活動の充実 ◆自然体験活動や地域の行事への参加など、様々な体験活動の充実に取り組む ⑤地域の歴史や文化等に関する教育の推進 ◆社会科副読本の活用や美術自然史館・郷土館との連携により、郷土の歴史や文化を学ぶ教育を推進する ⑥文化芸術等による子どもの豊かな心の育成 ◆子どもたちに芸術や伝統文化に触れる機会を創出するとともに、美術自然史館やこども科学館事業と連携し、子どもたちの情操を育み、創造性を高める教育を推進する。
【目標3】 健やかな体の育成/ スポーツを通じた豊かな心身の育成	③学校や地域における子どものスポーツ機会の充実 ◆学校における体育活動の中で、体育専科教諭のノウハウを活かし、スポーツをする楽しさに気付かせるなど、児童生徒の運動習慣の確立や体力の向上を図る。また、社会教育施策や地域の人材・資源などを活用して、より身近な環境におけるスポーツの機会の充実を図るとともに、部活動の地域移行を推進する。
【目標4】 多様な教育ニーズへの対応と社会的包摂	①特別支援教育の推進 ◆教育支援委員会による教育相談により、一人一人の障がいの状況に応じたきめ細かなニーズを把握し、「個別の指導計画」と「個別の教育支援計画」を作成し、福祉部局と連携した幼児期から一貫した支援を行うことにより、インクルーシブ教育を推進する。またICTを効果的に活用し、個別最適な学びを推進する。加えて、日常的な医療的ケアを必要とする児童生徒が在籍する場合には、看護師を派遣し、医療的ケアを実施する。 ②不登校児童生徒への対応 ◆不登校児童生徒への支援については、「学校に登校する」という結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自ら進路を主体的に捉えて、社会的に自立することを目指し、適応指導教室をはじめ、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーと学校が連携協力し、初期段階から組織的な支援体制を構築する。併せて、日常的教育活動に対する児童生徒の満足感や充足感を把握し、その結果に応じた取組内容の見直しを行うなど、不登校児童を発生させないための未然防止策を強化する。
【目標5】 主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成	②持続可能な開発のための教育(ESD)・環境教育等の推進 ◆ESD若しくはSDGsに関し、地球規模での課題を自分のこととして捉え、その解決に向けて、自分で行動を起こす力を身に付けるための教育を教科横断的に取り組む
【目標8】 イノベーションを担う人材育成	①STEAM教育の実践 ◆「総合的な学習の時間」や「総合的な探求の時間」を充実させ、地域との連携を強化した実社会での課題発見・解決に活かしていくための教科横断的な学習を行う。 ・STEAM教育の実践(「STEAM Library」の活用をはじめ、実社会での探検学習)

6) B & G財団の主な活動

B & G財団は、主に海洋性レクリエーションを通じた青少年の健全育成と地域住民の健康づくりを目的とする「B & Gプラン」を推進するため、モーターボート競走法制定 20 周年の記念事業として、1973 年 3 月に設立されています。その後、滝川市を含む全国 480 カ所に自治体の要望に基づき海洋センターを建設し、施設を無償譲渡しています。現在は、461 カ所の海洋センターが各地で事業を展開。B&G 財団では、5 つのミッションを掲げ、以下のような地域貢献活動を行っています。

<5つのミッション>

Mission 01 子ども・子育て支援	◆子ども第三の居場所 ・学童保育の範囲を拡大し、子ども・保護者に利用しやすい施設を提供 ◆海洋性レクリエーション指導員「センター・インストラクター」養成研修 ・海洋センター施設の管理運営や各種の事業を担う、B & G 指導員を合宿型研修で養成 ◆地域指導者会の活動促進 ・B & G 地域指導者会を各地で結成し、自然体験の普及と水辺の安全教室を実施 ◆学生ボランティア養成事業 ・学生を対象に「リーダー」養成カリキュラムや「水辺の安全教室」プログラム等の研修実施 ◆休眠貯金等を活用した体験格差解消事業 ・障がい児や児童養護施設の子供たちに向けた自然体験活動の提供 ◆海洋センターを活用した学習と体験活動による子育て支援「BG 塾」 ・夏休みなどに、海洋センターで宿題や、自然体験・スポーツなどの身体活動等の実施 ◆海洋センター所在自治体による偉人マンガの制作と活用事業 ・ふるさとゆかりの偉人の生き様などを通じて、郷土教育やキャリア教育につなげる
Mission 02 防災と災害復旧	◆防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築 ・防災倉庫の整備、油圧ショベル、救助艇などの器材配置、重機研修費用の支援 ◆災害に備える海洋センター防災教育等の実施 ・全国の海洋センター体育館での避難所開設訓練や防災教室の実施
Mission 03 海と環境	◆海ゴミゼロフェスティバル ・全国の海洋センター・海洋クラブとともに実施している清掃活動 ◆「海の日」と「水辺の安全」を学ぶ「水辺の安全教室」 ・水辺での危険回避能力と安全技術を学ぶ「B & G水辺の安全教室」を全国の小中学校で授業で実施 ◆海に入らなくても、海で遊べるビーチイベント「B & G 砂 ASOBeach」 ・「海の日」と「海の安全」について理解を深めることができるビーチイベント ◆漂着ごみ専用ごみ箱「B & G 拾い箱」 ・海岸清掃や漂着ごみ専用ごみ箱「B & G 拾い箱」の設置 ◆「B & G 海洋クラブ」の登録・支援 ・海洋性レクリエーションを楽しむ、水辺の安全教室や清掃活動などを行う組織の登録・支援 ◆「次世代型海洋センター艇庫の先進的活用と地方の魅力創生」 ・様々な団体を巻き込み、幅広い世代に向けた多様な艇庫活動の推進 ◆障がい者を対象としたヨット・カヌーなどの体験会 ・障がいがある方にもカヌーやヨットを通じて、水辺での楽しさを体感してもらうための体験会 ◆児童養護施設の子供やひとり親家庭を対象とした水辺の自然体験活動提供事業 ・子供たちの「豊かな人間性」を育み、「生きる力」を醸成する自然体験活動。
Mission 04 健康と生きがいづくり	◆海洋センター・クラブにおける施設整備と器材配備 ・海洋センター修繕助成金の交付や、舟艇器材の配置 ◆障害者スポーツ推進プロジェクト ・スポーツ庁の「障害者スポーツ推進プロジェクト」を委託事業として実施 ◆海洋センターのバリアフリー化と器材配備 ・障がい者と健常者が分け隔てなく運動を楽しめるインクルーシブな利用環境づくり ◆熱中症対策 ・プールに救護ベッド・ベンチやエアコンなどを備えた救護室の設置 ◆「夢をつなげ！B & G アスリート」 ・海洋センター・海洋クラブで夢を追って挑戦し続けているジュニア選手の応援。
Mission 05 コミュニティの再生とまちづくり	◆地域コミュニティ再生モデル事業 ・海洋センターと所在市町村が連携して、施設の多機能化や複合利用を推進 ◆地域コミュニティの拠点づくりに向けた海洋センターの多機能化改修支援と各種ソフト事業の提案 ・地域が求める「交流の場」づくりに向け、海洋センター整備・改修支援、ソフト事業の提案 ◆全国会議の開催 ・B & G 全国サミットや、全国教育長会議の実施

2. 対象施設の状況

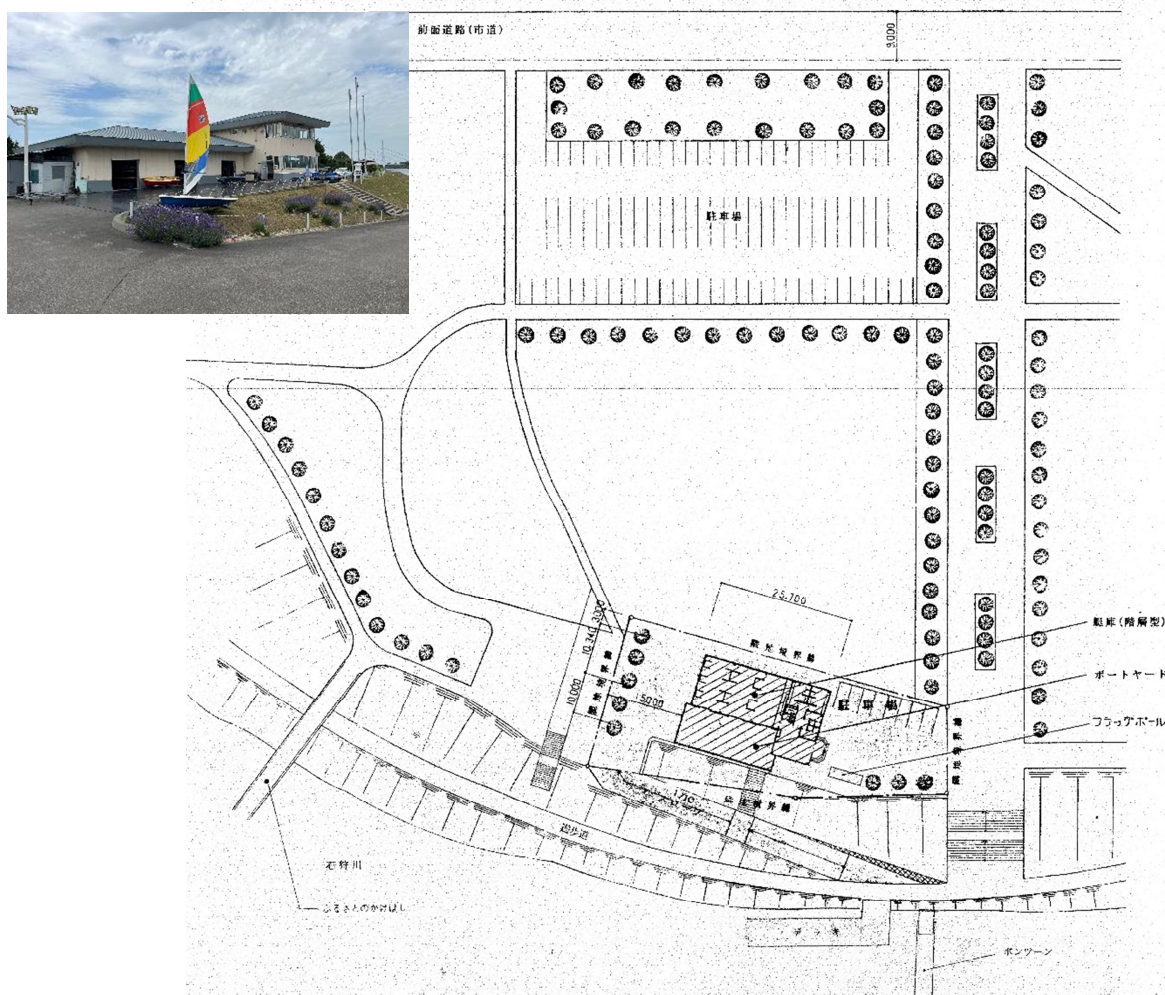
(1) 滝川市B & G海洋センター

1) 施設の概要

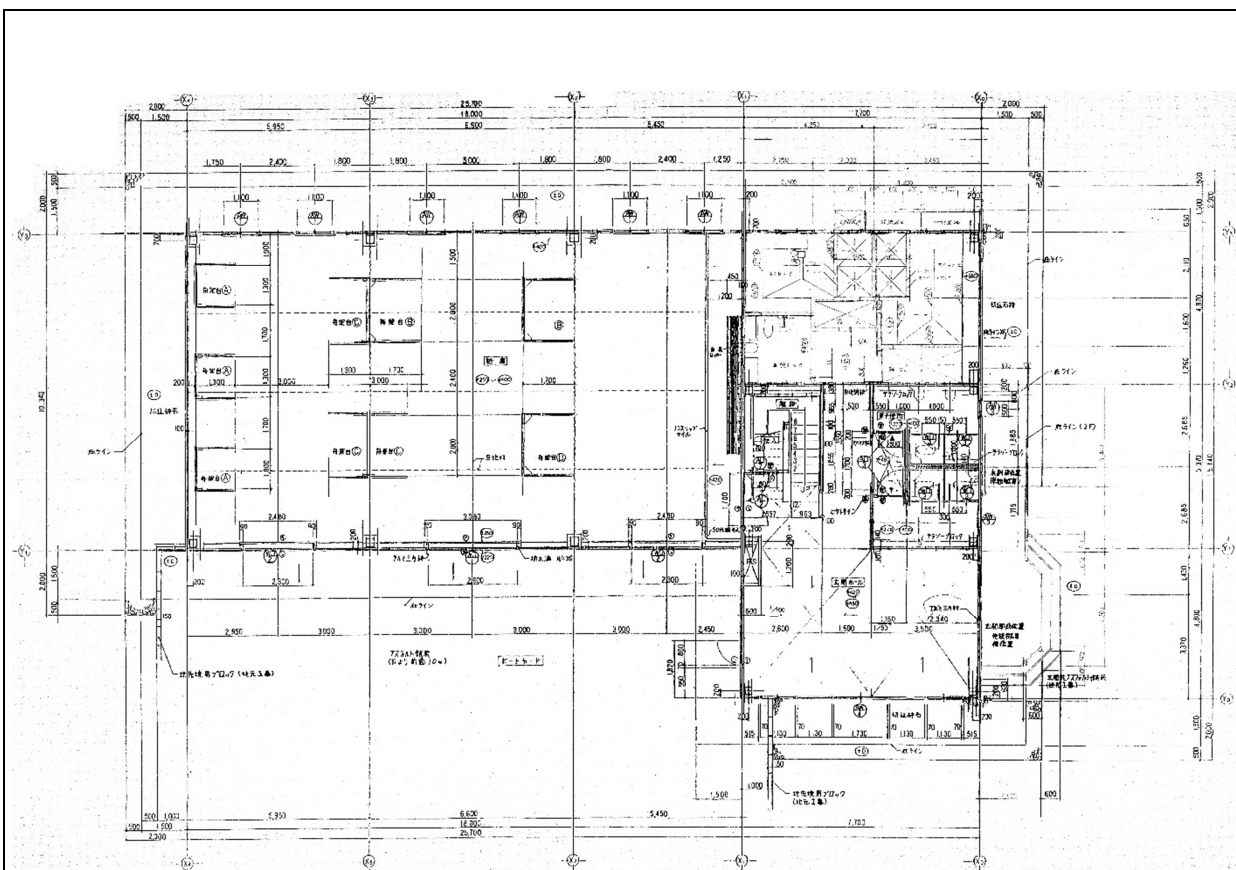
本構想の対象施設の概要を以下に整理します。

図表 滝川市B & G海洋センター概要

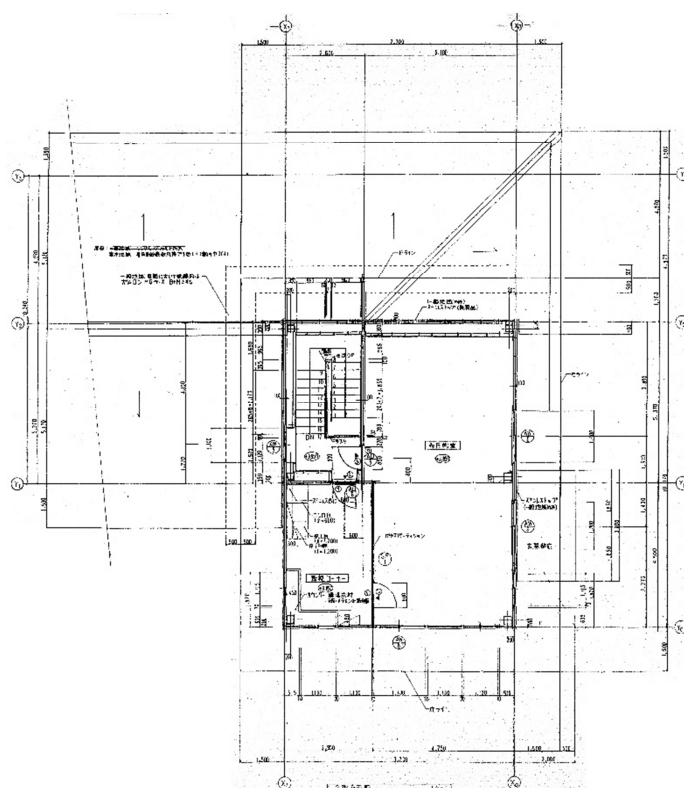
施設名	滝川市B & G海洋センター
所在地	〒073-0041 北海道滝川市西滝川 10 番地
構 造	鉄骨造
区域区分等	非線引き区域／白地地域 都市計画公園／池の前水上公園
防火地域	指定なし（法 22 条地域）
建ぺい率	60 %
容積率	200 %
区域指定等	立地適正化計画区域/内、居住誘導区域/外、都市機能誘導区域/外
最高高さ	8.540m
面 積	建築面積 304.180 m ² 延床面積 382.489 m ² (1F 304.180 m ² 2F 78.309 m ²)
建築年度	平成 6 年 6 月 竣工



図表 滝川市B & G海洋センター／平面

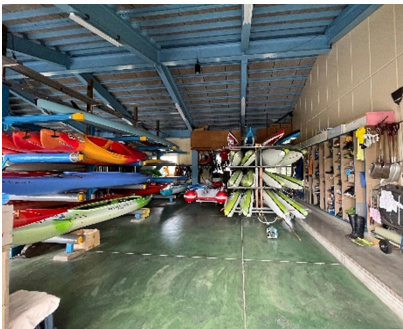
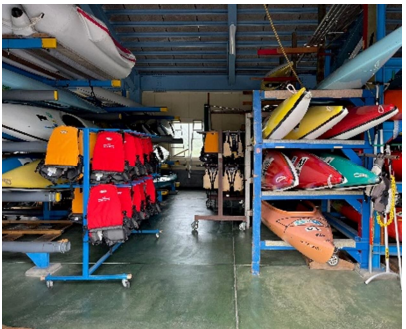
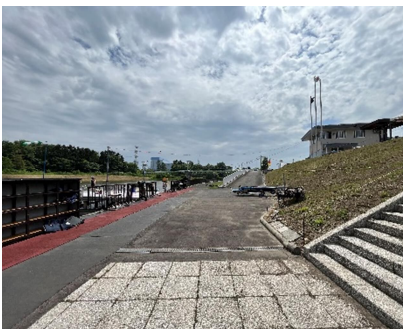


1F 平面図

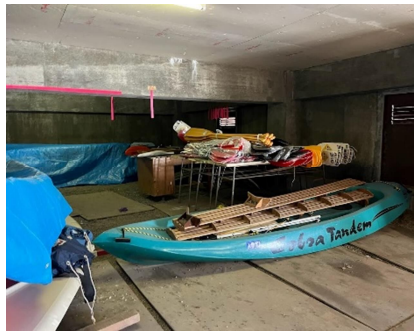
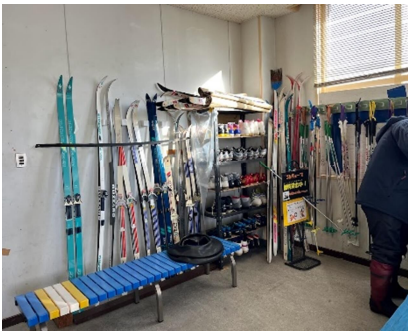


2F 平面図

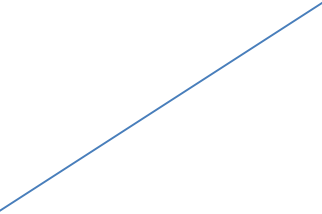
図表 施設の状況

施設全景	艇庫及び前面広場	職員用駐車場
		
エントランスホール	エントランスホール(階段側)	脱衣室(シャワーブース)
		
艇庫	艇庫	監視室(2F)
		
職員ロッカ-室(給湯コーナー)	付属倉庫	カヌーデッキ
		
舟艇移動スロープ	施設前緑地	メイン通路
		

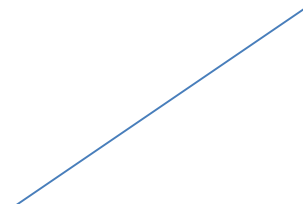
図表 北電公園倉庫（第2艇庫の状況）

艇庫の状況	艇庫の状況	艇庫の状況
		
貸し出し用品庫(スキー)	貸し出し用品庫(チューブスライダー)	北電公園倉庫／第2艇庫
		

図表 舟艇等の所有状況

シングルカヌー 42 艇		シングルカヌー(大) 9 艇	
	数 量 艇庫 32/北電 10 サイズ 全長 4000mm 幅 600mm 高さ 300mm		数 量 艇庫 9/北電 0 サイズ 全長 2800mm 幅 800mm 高さ 350mm
ペアカヌー 14 艇		ペアカヌー(大) 12 艇	
	数 量 艇庫 12/北電 2 サイズ 全長 5300mm 幅 600mm 高さ 300mm		数 量 艇庫 12/北電 0 サイズ 全長 4400mm 幅 900mm 高さ 350mm
ローボート 13 艇		OP ヨット 14 艇	
	数 量 艇庫 11/北電 2 サイズ 全長 3650mm 幅 1250mm 高さ 500mm		数 量 艇庫 6/北電 8 サイズ 全長 2300mm 幅 1150mm 高さ 350mm
セールボート 3 艇		サボット 2 艇	
	数 量 艇庫 3/北電 0 サイズ 全長 3600mm 幅 600mm 高さ 200mm		数 量 艇庫 1/北電 1 サイズ 全長 2500mm 幅 1200mm 高さ 400mm

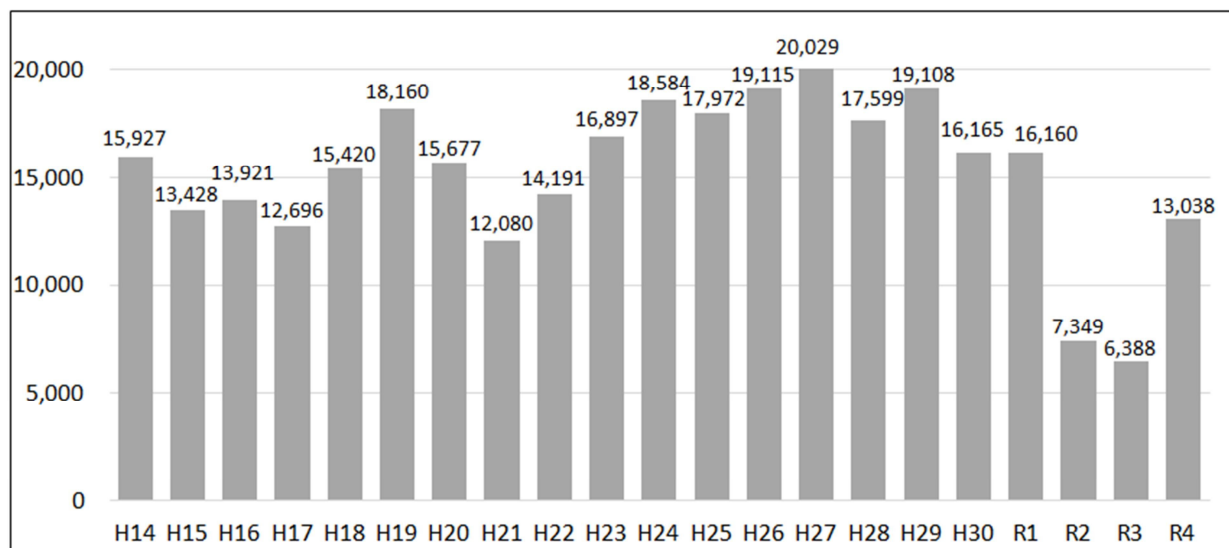
図表 舟艇等の所有状況

K-1		15 艇	パラ K-1		2 艇
	数 量 艇庫 11/北電 4 サイズ 全長 5200mm 幅 500mm 高さ 300mm			数 量 艇庫 2/北電 0 サイズ 全長 5200mm 幅 550mm 高さ 300mm	
ジュニア用 K-1		5 艇	C-1		2 艇
	数 量 艇庫 5/北電 0 サイズ 全長 4400mm 幅 550mm 高さ 300mm			数 量 艇庫 1/北電 1 サイズ 全長 5200mm 幅 700mm 高さ 400mm	
K-2		3 艇	救助艇(船外機付きゴムボート)		2 艇
	数 量 艇庫 1/北電 2 サイズ 全長 6400mm 幅 550mm 高さ 400mm			数 量 艇庫 2/北電 0 サイズ 全長 --mm 幅 --mm 高さ --mm	
救助艇(水上バイク)		1 艇	マリブ		3 艇
	数 量 艇庫 1/北電 0 サイズ 全長 --mm 幅 --mm 高さ --mm			数 量 艇庫 1/北電 2 サイズ 全長 3700mm 幅 900mm 高さ 300mm	
SUP		5 艇	カナディアンカヌー		3 艇
	数 量 艇庫 5/北電 0 サイズ 全長 3300mm 幅 800mm 高さ 200mm			数 量 艇庫 0/北電 3 サイズ 全長 4900mm 幅 600mm 高さ 500mm	
シーホッパー		2 艇	アクセスディンギー		1 艇
	数 量 艇庫 0/北電 2 サイズ 全長 3600mm 幅 1500mm 高さ --mm			数 量 艇庫 0/北電 1 サイズ 全長 2300mm 幅 1200mm 高さ 500mm	
バナナボート		1 艇	12 フィートヨット		1 艇
	数 量 艇庫 1/北電 0 サイズ 全長 3200mm 幅 1500mm 高さ 600mm			数 量 艇庫 0/北電 1 サイズ 全長 --mm 幅 --mm 高さ --mm	

2) 施設の利用状況

滝川市B & G海洋センターの利用者の推移及び近年の利用状況を以下に整理します。

図表 施設利用者の推移



図表 近年の施設利用者の属性／舟艇別利用者数の状況

年	月	大会・行事	教室	学校	グループ	一般利用者等	合計	カヌー	ペアカヌー	OPヨット	ローボート	その他	合計
R1	5月	48	29	957	156	305	1,495	246	498	0	435	316	1,495
	6月	365	0	2,637	443	928	4,373	772	1,190	4	1,179	1,228	4,373
	7月	1,652	178	1,691	919	661	5,101	352	1,060	0	921	2,768	5,101
	8月	80	24	1,106	686	510	2,406	624	771	10	602	399	2,406
	9月	344	280	1,514	288	327	2,753	323	789	0	742	899	2,753
	10月	0	0	0	30	2	32	31	0	0	0	1	32
		2,489	511	7,905	2,522	2,733	16,160	2,348	4,308	14	3,879	5,611	16,160
R2	5月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6月	0	26	26	269	165	486	282	95	0	4	105	486
	7月	45	9	0	326	590	970	452	292	0	104	122	970
	8月	0	82	114	338	797	1,331	536	497	0	117	181	1,331
	9月	311	84	2,364	323	774	3,856	658	1,347	0	1,143	708	3,856
	10月	0	0	464	110	132	706	191	213	0	217	85	706
		356	201	2,968	1,366	2,458	7,349	2,119	2,444	0	1,585	1,201	7,349
R3	5月	9	22	21	117	32	201	117	24	0	0	60	201
	6月	0	0	150	72	125	347	91	90	0	91	75	347
	7月	24	12	1,642	464	868	3,010	576	992	0	770	672	3,010
	8月	0	0	186	286	483	955	355	285	0	134	181	955
	9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	10月	0	0	1,436	124	315	1,875	157	699	0	528	491	1,875
		33	34	3,435	1,063	1,823	6,388	1,296	2,090	0	1,523	1,479	6,388
R4	5月	0	18	540	95	230	883	98	279	0	271	235	883
	6月	353	0	1,920	302	949	3,524	516	1,045	0	830	1,133	3,524
	7月	1,155	79	1,487	545	922	4,188	465	892	0	773	2,058	4,188
	8月	16	91	577	188	777	1,649	298	657	0	328	366	1,649
	9月	24	45	1,723	305	555	2,652	318	985	30	816	503	2,652
	10月	0	0	0	71	71	142	64	18	0	0	60	142
		1,548	233	6,247	1,506	3,504	13,038	1,759	3,876	30	3,018	4,355	13,038

図表 近年の実施事業の状況

開催日		事業名	参加者数	事業属性					
				大会	イベント	交流事	教室	環境保	研修
R1	5月中～下旬	土曜日・日曜日滝川市民無料体験会	48		1				
	5月11日～10月10日	水辺の安全教室(9教室)	343				9		
	6月16日	北海道カヌースプリント短距離選手権大会	347	1					
	7月6日	「川をきれいにしよう！ラウネ川」inクリーンキャンペーン	12					1	
	7月6日	浦臼B＆G交流事業	22			1			
	7月13日	鷹栖海洋クラブ交流事業	8			1			
	7月15日	マリンスポーツフェスティバル2019	1,566		1				
	7月28日	親子カヌー教室	40				1		
	7月28日	SUP(スタンドアップパドルボート)体験教室	4				1		
	7月30日	たきかわDE調べる学習体験	15				1		
	8月1日	石狩B＆G交流会	29			1			
	8月6日～7日	カヌー教室	20				1		
	8月29～30日	リーダー養成研修	80						1
	9月13日	滝川中央ライオンズクラブ主催カヌー体験	344				1		
	9月13日	北海道ブロック指導員レベルアップ研修会	108						1
			2,986	1	2	3	14	1	2
R2	6月2日～10月10日	水辺の安全教室(5教室)	67				5		
	7月11日	「川をきれいにしよう！ラウネ川」inクリーンキャンペーン	9					1	
	7月11日	浦臼B＆G交流事業	9			1			
	8月8日	カヌー教室	10				1		
	8月9日	SUP(スタンドアップパドルボート)体験教室	7				1		
	8月9日	親子カヌー教室	40				1		
	9月13日	北海道ブロック指導員レベルアップ研修会	84						1
			226	0	0	1	8	1	1
R3	5月8日～10月10日	水辺の安全教室(2教室)	34				2		
	7月10日	「川をきれいにしよう！ラウネ川」inクリーンキャンペーン	12					1	
	7月10日	浦臼B＆G交流事業	12			1			
	8月7日	カヌー教室／中止	0						
	8月9日	SUP(スタンドアップパドルボート)体験教室／中止	0						
	8月9日	親子カヌー教室／中止	0						
	9月13日	北海道ブロック指導員レベルアップ研修会／中止	0						
			58	0	0	1	2	1	0
R4	5月14日～10月10日	水辺の安全教室(6教室)	126				6		
	6月19日	北海道カヌースプリント短距離選手権大会	341	1					
	7月9日	クリーンフェスティバル	28					1	
	7月9日	浦臼B＆G交流事業	20			1			
	7月16日	鷹栖B＆G交流事業	7			1			
	7月18日	マリンスポーツフェスティバル2022	1,077		1				
	8月3日	たきかわDE調べる学習体験	16				1		
	8月6日～7日	夏休みカヌー教室	9				1		
	8月6日	SUP(スタンドアップパドルボート)体験教室	4				1		
	8月7日	親子カヌー教室	36				1		
	9月16日	北海道ブロック指導員レベルアップ研修会	45						1
			1,709	1	1	2	10	1	1

(2) 滝川市こども科学館（機能集約施設）

施設は3つのゾーンと体験室の他、幼児コーナーで構成されています。近年の入館者数は令和4年で年間約16,000人に利用されています。

図表 滝川市こども科学館概要

施設名	滝川市こども科学館（平成3年開業）
所在地	〒073-0033 北海道滝川市新町2丁目6番1号
延床面積	1,778.3 m ²



プレートテクトニクス



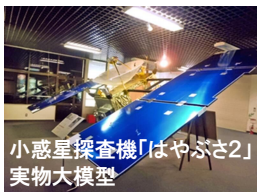
自然界の不思議コーナー



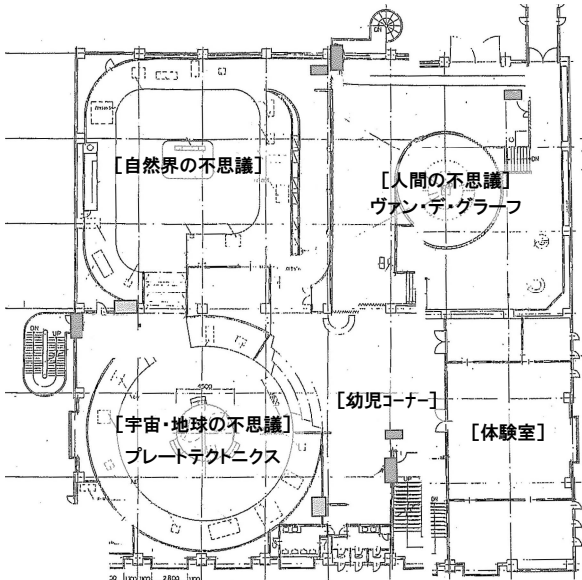
ヴァン・デ・グラーフ
（静電気実験装置）



幼児コーナー



小惑星探査機「はやぶさ2」
実物大模型



【自然界の不思議】

【人間の不思議】
ヴァン・デ・グラーフ

【宇宙・地球の不思議】
プレートテクトニクス

【幼児コーナー】

【体験室】

30 1000 2000 1000

■こども科学館 [3F]

図表 近年の入館者数・入館料

		有料入館者	無料入館者	合計	入館料
R1	一般	3,352	1,236	4,588	171,140
	高校生	38	130	168	3,360
	中学生	199	29	228	8,220
	小学生	2,758	703	3,461	36,320
	幼児	0	2,296	2,296	288
		6,347	4,394	10,741	219,328
R2	一般	3,877	1,673	5,550	314,630
	高校生	126	116	242	4,260
	中学生	1,062	201	1,263	5,040
	小学生	3,217	969	4,186	77,300
	幼児	0	2,206	2,206	0
		8,282	5,165	13,447	401,230
R3	一般	2,985	1,242	4,227	136,930
	高校生	49	17	66	3,570
	中学生	209	37	246	1,600
	小学生	2,521	628	3,149	30,240
	幼児	0	1,976	1,976	0
		5,764	3,900	9,664	172,340
R4	一般	5,345	1,692	7,037	294,820
	高校生	71	160	231	3,630
	中学生	613	29	642	7,060
	小学生	4,198	918	5,116	63,620
	幼児	0	3,173	3,173	0
		10,227	5,972	16,199	369,130

図表「月イチリカ室」の開催状況（令和4年度）

開催日	事業名	延参加者
令和4年度	4月23日	手作りコマ
	5月28日	UF0クラゲ
	6月25日	サイクロンビー玉
	7月23日	スクイズボール
	8月27日	マジックペーパー
	9月24日	おやゆびピアノ
	10月22日	飛び出す！へびくん
	11月26日	クルクルあそび
	12月24日	滝高科学部わくわくアワー（空力翼艇ラム）
	1月28日	カタコロまゆたん
	2月25日	にぎにぎ
	3月25日	コロコロ紙コップカー
		217 (12回)

図表 その他・こども科学館主催事業（令和4～5年度）

開催日	事業名
令和4年度 (抜粋)	1月4～9日 ～ 冬休みこどもウィーク ～ ー
	1月9日 わくわくサイエンス バルーンロケット&ムーンサルと飛行機
	3月27日 わくわくサイエンス キラキラ万華鏡 & おきあがりこぼし
令和5年度 (抜粋)	8月4日～10月22日 ～ 天体観測会 ～ ー
	8月6日 わくわくサイエンス 浮沈子と光の箱
	1月4～8日 ～ 冬休みこどもウィーク ～ ー
	1月4～5日 わくわくサイエンス ミニプラネタリウムで宇宙探検
	1月6日 わくわくサイエンス 光の実験
	1月8日 わくわくサイエンス バルーンロケットと電気クラゲ
	3月26日 コズミックカレッジ 熱気球を飛ばそう

サイエンスショー（燃えるの科学）



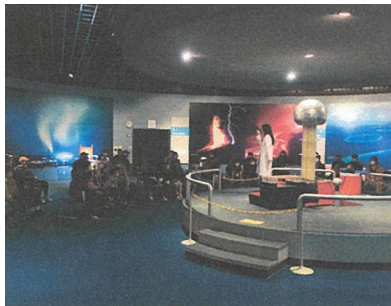
工作ワークショップ（つかめる水）



工作ワークショップ（スマホ顕微鏡）



サイエンスショー（静電気実験）



天文事業（金星観察会）



特別イベント（科学館サマーフェス）



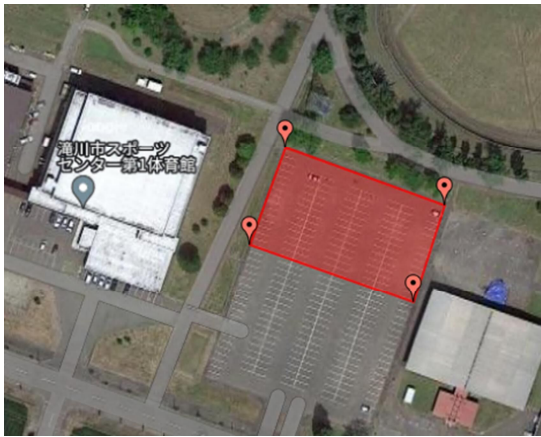
(3) スケートリンク（機能集約施設）

滝川市スポーツセンター周辺には、体育館や野球場のスポーツ施設が整備されている他、冬季は駐車場の一部をスケートリンクとして活用しています。

新たな施設では、年間を通じた安全な子どもの遊びの場とするため、冬の遊び場や、スケートリンク機能の移転を検討しています。

図表 スケートリンクの概要

施設名	滝川市スポーツセンター（スケートリンク 駐車場の一部を活用）
所在地	〒073-0005 北海道滝川市二の坂町東3丁目2-1
駐車場 (スケートリンク)	約2,500㎡程度 (※現在はスポーツセンター駐車場の半分程度を使用)
備考 (整備方法)	・スケートリンクは一般財団法人滝川市スポーツ協会により造成 ・造成は駐車場などフラットな面を確保し散水することで設営を行う。 ・散水には消防用ホースを使用（消防用ホースに対応できる給水設備が必要）



■スケートリンク位置



■スケート場受付（用具レンタル）

開設期間 12月下旬～2月中旬（天候条件による）

図表 近年の利用者数

年度	入場者区分	有料入場者数	イベント入場者数 (スケート教室等)	合 計
R 1	中学生以下	870	38	908
	高校生以上	484		484
	計	1354	38	1392
R 2	中学生以下	477	39	516
	高校生以上	313		313
	計	790	39	829
R 3	中学生以下	143	45	188
	高校生以上	81		81
	計	224	45	269
R 4	中学生以下	562	21	583
	高校生以上	364		364
	計	926	21	947

3. 新たな海洋センター整備に関する基本構想

(1) 新施設整備の基本方針

1) 整備目的 | 事業テーマ

新たな施設は、夏季中心の海洋レクリエーション施設から、子どもの学びや体験の他、体力づくりなどの機能を付加した「子どもを育む」複合型施設とします。

天候と季節に左右されない通年利用施設とすることで、小中学校等の多様な研修ニーズに対応が可能となるなど、より広域利用（空知、札幌圏、旭川圏）を促進し、交流人口増加を目指します。

北海道でありながら近年では非日常的となった冬期間の外遊び機能を設け、通年で屋外活動も行える体験エリアとし、子どもたちの豊かなココロとカラダを育成します。

子育て世帯等が、健康・体力づくり・家族のふれあいの場とするため「水のふれあい広場」や「遊具の広場」を新規に導入します。

冬季は駐車場をスケートリンクとして、また、あおぞら広場を冬の遊びの場として活用するなど、子どもを育む通年型の安全な遊びの空間を提供します。

[事業テーマ]

「体験」＋「学び」＋「交流」で 豊かな心を「育む」
みんな の“居場所”
～Well-Being Park～

2) 施設整備コンセプト（STEAM ‘S + Eco）

少子高齢化、人口減少、環境問題、AIの劇的進化など、子どもたちを取り巻く環境や地域状況は大きく変化しました。

これからの社会を生き抜く子どもたちには、多様な「体験」と「学び」を通じて、感性を高め、個性を引き出しながら「自ら考え、答えを生み出す力」を身につけることが求められています。

新たな施設は、誰もが利用でき、地域と子ども達の交流が生まれ、現代社会を生き抜くために求められるさまざまなチカラを引き出し育成する活動拠点を目指します。

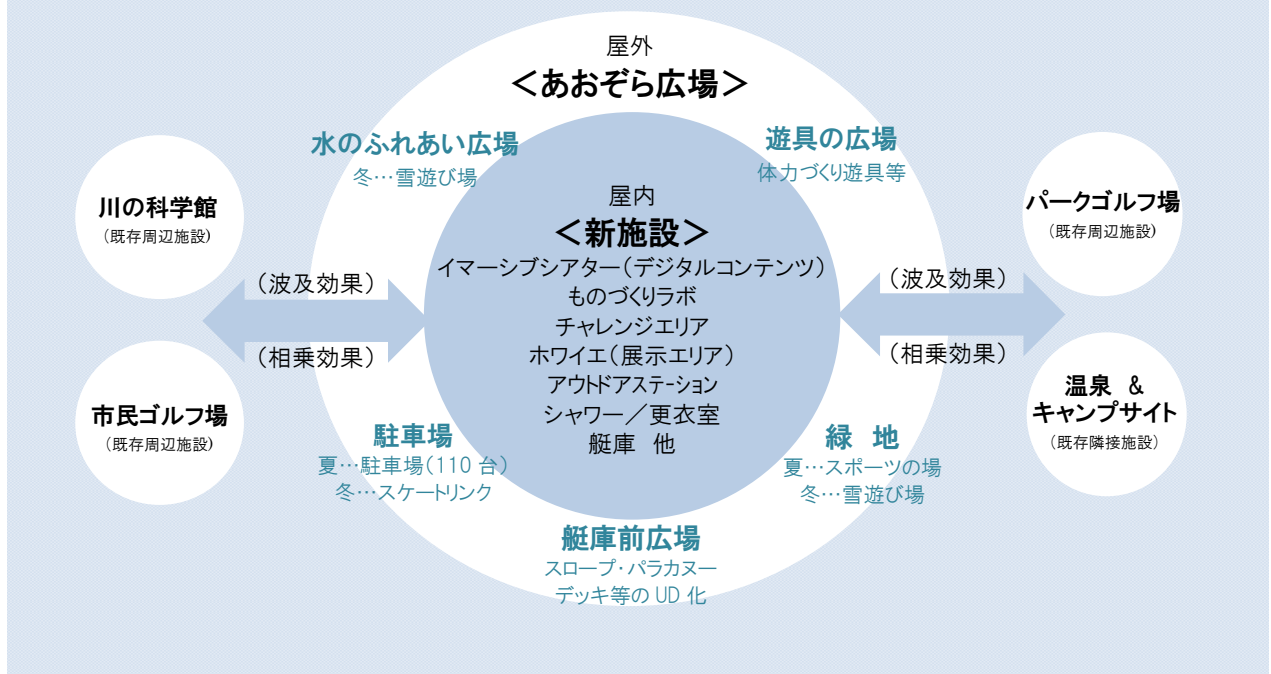
●STEAM ‘S + Eco



3) エリアの活性化方針

新たな施設は、「池の前水上公園」の中心的な位置に立地する特性を活かし、周辺施設との新たな相乗効果や波及効果を促す再整備を行います。

●新施設～自然(水辺)と既存施設をつなぐ拠点施設



4) 新たな施設および周辺環境の整備イメージ

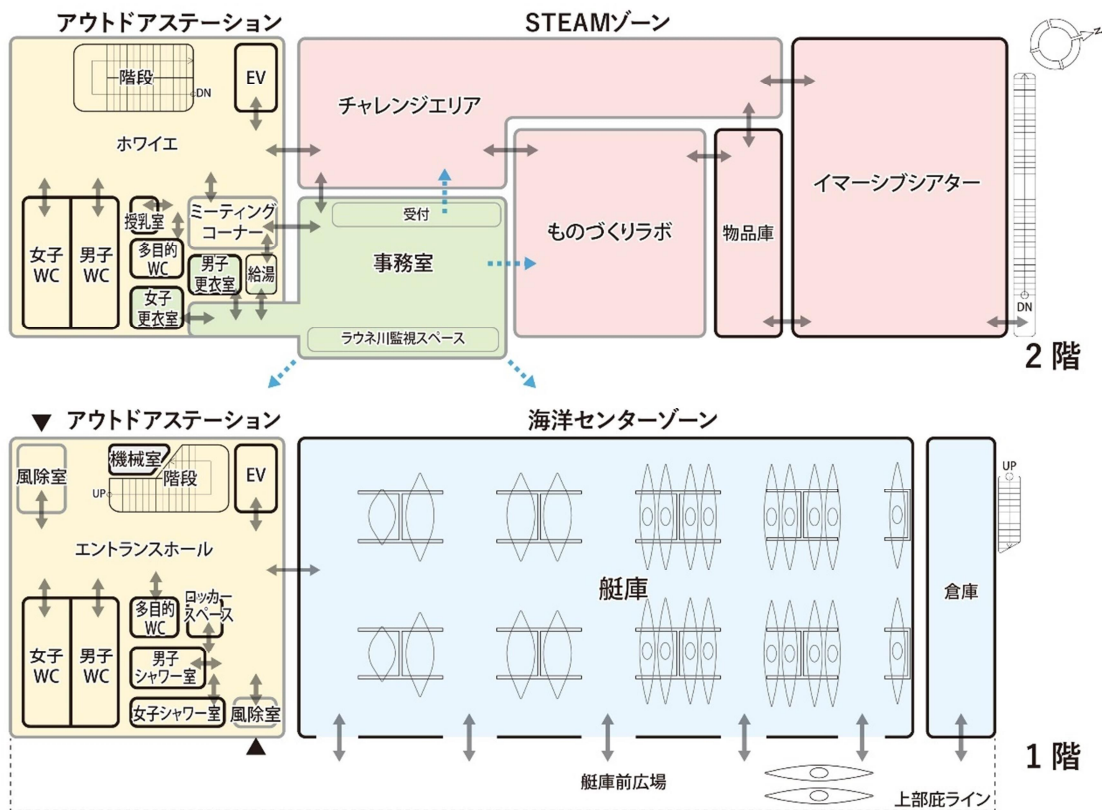


5) 新たな施設の機能構成イメージ

機能関係図

凡例

- : 室
- ⬆⬆⬆ : 視線
- ↔ : 連携
- ◀ : 出入口
- : アウトドアステーション
- : 管理ゾーン
- : 海洋センターゾーン
- : こども科学館ゾーン



(2) 導入機能・施設規模の検討

1) 新たな施設の導入機能・規模

新たな施設は、1F「艇庫ゾーン」と2F「STEAMゾーン」からなる1,000㎡程度の施設を想定します。

資料2 新海洋センター／諸室機能／面積等

ゾーン		機能等	利用特性／用途／仕様等
2F	ホワイエ (無料ゾーン)	ホワイエ	・ ミーティングコーナー等のエントランスゾーン。誰でも立ち寄れる無料ゾーンとして展示エリアとしても利用
		ミーティングコーナー	・ 各種ミーティング（地元自治会の利用含む）に対応する小会議室を想定。給湯室と連結し使用できる配置
		トイレ	・ 男性/1ブース+小3 女性/3ブース 多目的/1ブース 程度
		授乳室	・ 1ブース（ベビーベッド/おむつ交換台/授乳チェア/ダストボックス/等） ・ トイレに近い配置
	事務室	事務室 （受付／監視スペース）	・ 海洋センターゾーン管理7名分、STEAMゾーン管理4-5名分の事務スペース ・ 受付機能も含む（ホワイエ側カウンター設置） ・ カメラ監視機能も含む（ラウネ川側にカメラ監視ゾーン設置）
		職員更衣室	・ 男性用1室、女性用1室。事務室と連結した配置
		給湯室	・ 事務室と連結した配置（ミーティングコーナーからも出入りできる配置）
	STEAM ゾーン (有料ゾーン)	イマーシブシアター	・ シアターを使用したプログラムの実施/映像作成/サイエンスショー等 ・ スクリーンや映像機器の他、研修/ワークショップでの作業テーブル等の設置を想定 ・ 30～36人の学校研修への対応等
		ものづくりラボ	・ 各種実験WS／創作プログラムの実施を想定 ・ レーザー加工機／UVプリンター等の設置（機器洗浄の為のシンク設置） ・ 加工機器導入の為、事務室等から室内を確認出来、防音効果もある仕様（ガラス 防音）を想定、作業テーブル等の設置を想定 ・ 30～36人程度の学校研修への対応等
		チャレンジエリア	・ 複数の知育遊具等の導入を想定（木製遊具、知育玩具等） ・ 30人程度の学校研修への対応等
500㎡程度			
1F	アウトドア ステーション	エントランスホール	・ 施設エントランス機能の他、艇庫やおおぞら広場利用者の休憩スペース
		風除室①	・ 施設西側／おおぞら広場や駐車場からのアクセスが容易な配置
		風除室②	・ 施設東側／艇庫前広場に面した配置
		トイレ	・ 男性/ブース1+小3 女性/3ブース 多目的/1ブース程度 （艇庫からも利用しやすい配置）
		シャワー室	・ 艇庫との近接性が良い配置、男女各2ブース程度
		ロッカースペース	・ 主に艇庫の他、STEAMゾーン利用者の使用を想定
		EV	・ 車椅子対応（9人乗り程度）の大きさを想定
		機械室	・ 空調関連機器等を想定
	艇庫 ゾーン	艇庫	・ 既存艇庫（186㎡）の概ね1.8倍程度の面積を確保。収納量拡大と搬出入作業の効率化に向け、架台10機と架台間に十分な幅を確保
		倉庫	・ 収納物増加への対応として、既存コンテナ（2台 19㎡程度）以上の規模を確保
500㎡程度			
計			1,000㎡程度

2) 屋外の導入機能

屋外空間は、新たな拠点施設の整備に合わせ、既存の緑地を「あおぞら広場」として子どもの遊びと体力づくりに資する新機能を導入するなど、既存機能の有効活用を含めた魅力的なエリアを再構成します。

ゾーン／機能		利用特性／用途／仕様等
駐車場 (既存有効活用)	スケートリンク (※冬季)	・ 夏季は110台規模のメイン駐車場 ・ 冬季はスケートリンクとして活用 (散水栓の整備 消防用ホース接続に対応)
あおぞら広場 (既存有効活用)	遊具の広場	・ 体力づくり遊具(数基)の設置
	水のふれあい広場	・ 低水面の親水空間(段差のないUD形状) ・ 水の供給は井戸掘削等を検討 (流水設備例 手押しポンプ等整備費と安全性を考慮し選択)
	冬季 雪遊び場	・ あおぞら広場(一部)での雪遊び場を想定 (敷地の除排雪の活用を想定)
新たな施設 ゾーン (新規)	艇庫前広場	・ 100人規模のカヌー研修に対応(同時に出入艇/メンテ/レクチャー等が行える規模) ・ 船底保護対策を検討(ゴムシート敷設等)
	駐車スペース	・ 職員用11台、来客用16台程度を想定 (既存海洋センター跡地の活用)
カヌー運搬動線 (既存有効活用)	スロープ	・ 艇庫前運搬路、スロープへの転落防止フェンスの設置
	カヌーデッキ	・ カヌーデッキの車椅子対応を検討 (パラカヌーデッキ改修)
計		

(3) 施設機能の概要

1) イマーシブシアター（デジタルコンテンツ）

本市の歴史や自然等の学習コンテンツを臨場感のある映像で体感・経験できるほか、映像機器を活用した体験コンテンツやサイエンスショーなどを通じ、感性や想像力を育む場とします。

<イマーシブシアター>

>疑似体験プログラム

イマーシブシアターの大画面で迫力のある映像による体験や、疑似体験が味わえるプログラムを実施します。

また、障がいや性別、年齢を問わず本物に近い体験ができる場とします。

>映像学習プログラム

タキカワカイギュウが生きていた時代を再現した太古の環境/生態系の学習/星空や環境/防災等に関する学習を行います。



<デジタルコンテンツ | 導入例>

>シアターを活用した創造力を育むプログラムの実施

- ①ストップモーション「ものに命を吹き込み物語を作る」
- ②アフレコ「ものの気持ちを想像して演じる」

>ユピサキに咲く（コンテンツ例）

絵を描くのが得意な人も苦手な人も個性的な花を咲かすことが出来るコンテンツ等を通じ、芸術への興味・関心を広げます。



>サイエンスショー

シアター空間を使用しサイエンスショーを実施します。



2) ものづくりラボ

レーザー加工機等を導入し、「自分のやってみたい」を「カタチ」にする探求プログラムを通じ、ものづくりから思考力・創造力を養う場とします。



➤ワークショップの開催

レーザー加工機やUVプリンターを用いた作品づくりなど、イベント行事に合わせたプログラムを提供します。

➤テーマから自由に創造し制作するプログラムの実施

複雑な時代を生き抜くための力を育む活動や、活動成果を発表・展示するイベントを行います。

ex)「大好きなことをカタチにしてみよう」

ex)「未来の滝川市をカタチにしてみよう」など



3) チャレンジエリア

遊びながら工夫や失敗を繰り返し考える力を育む各種コンテンツを用意し、創造力や論理的思考、発想力や問題解決力、集中力などを養う場とします。

＜チャレンジコンテンツ | 導入例＞

➤ナーディーダービー

トライ＆エラーを繰り返し、一番速いオリジナルカーを制作、レースで速さを競うコンテンツ。

➤ビー玉コロコロ

創造力を膨らませビー玉を転がす自由なコースを作るコンテンツ。

➤ビー玉ピラミッド

ビー玉を使い、20段のピラミッドを組み上げるコンテンツ。

➤カタミノパズル

ひらめきを鍵に、ブロックパズルを完成させるコンテンツ。



4) 展示エリア（ホワイエ）

月替わりで展示内容が変わる「パネル展」をはじめ、面白い研究を入口とし科学への好奇心を育む「イグノーベル賞」の展示などを通じ、知識を共有し好奇心を育む場とします。

➤成果物の展示

ワークシートや作品の展示により、様々な考えに触れる機会を作ります。

➤展示例）イグノーベル賞の展示

「人々を笑わせ考えさせた研究」に与えられるイグノーベル賞の展示など、科学の裾野が広いことを感じる場とします。また、子ども達が日常感じる「なぜ」を表現する場とします。

➤展示例）環境・再エネに関する展示

環境問題や再エネに係る展示を行い、環境保全への興味と理解を促します。



5) 艇庫エリア（スロープ・カヌーデッキ | ラウネ川周辺）

艇庫エリアは、障がいのある子どもも安全に利用できる仕様と、学校等の多人数による体験学習ニーズに対応できる規模、艇庫前で事前レクチャーを一斉に行える配置など、既存施設の課題であった規模の拡大と併せ、新たなニーズに対応します。

➤各種体験会やイベントの開催

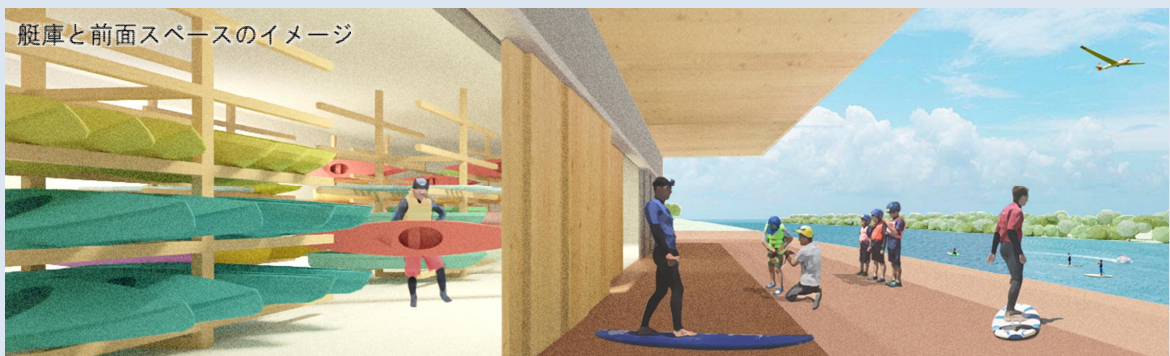
初心者から上級者までが楽しめる、各種水上レクリエーションプログラムを実施します。

➤パラカヌーデッキの整備

障がいのある方も水上レクリエーションを楽しめるよう、安全柵の設置やカヌーデッキ等の車椅子対応を行います。

➤環境学習プログラムの実施

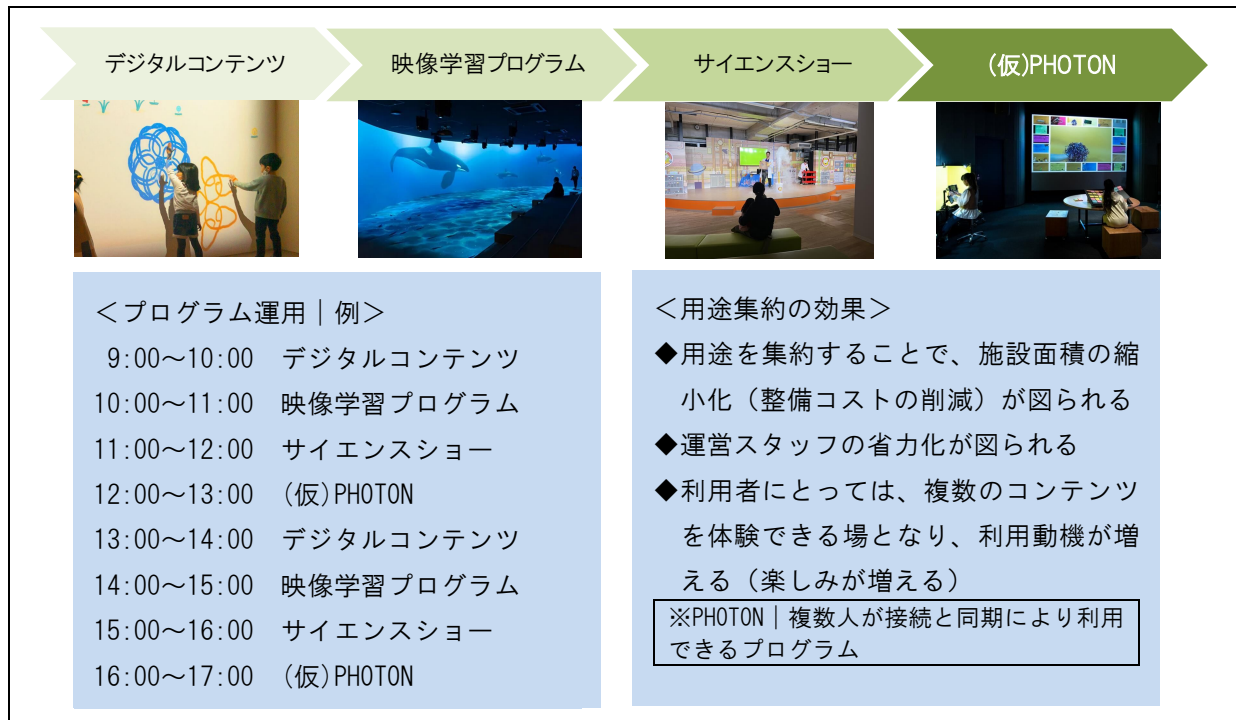
カヌー等の活動フィールドであるラウネ川の自然観察会や環境保護・学習プログラムを実施します。



（４）施設運用イメージ

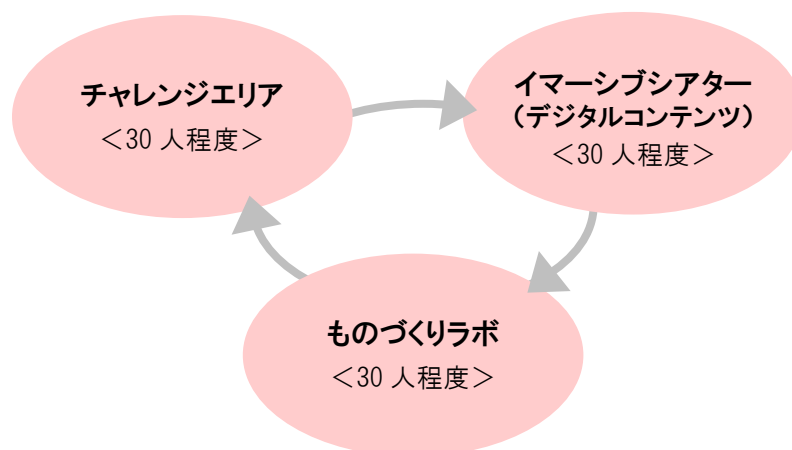
１）イマーシブシアター（デジタルコンテンツ）の運用イメージ

イマーシブシアターは、映像学習プログラムの映写の他、スクリーンを利用し多人数で参加できるデジタルコンテンツやシアター空間でのサイエンスショーなど、複数プログラムをタイムスケジュールで運用します。



２）学校等の団体受入れと運用イメージ

現在の「こども科学館」は、小中学校の研修等で 100 人規模の児童・生徒を受け入れていますが、新たな施設はこれら多人数での研修ニーズを継承するため、「イマーシブシアター」、「ものづくりラボ」、「チャレンジエリア」にそれぞれ 20～30 分程度のコンテンツを用意し、3 ゾーンの体験を巡る、所要 1.5～2 時間程度の学校研修プログラムを運用します。



(5) 事業計画案の検討

1) 実施プログラム

①不登校児や特別支援学級児童の体験会の開催

家庭・社会・学校などで、様々な事情を抱え、適応指導教室に通う不登校児童生徒や、特別な支援を要する児童が、新たな拠点施設を中心に展開されるカヌーや体験活動を通じ、チャレンジするココロとコミュニケーションする力を養います。また、特別支援学級児童の体験会や、難病児（そらぶちキッズキャンプ）の受け入れ等を行います。

②実験学習プログラムや季節ごとのイベントの開催

ものづくりラボでは、定期的に幼児～小学生を対象とした理科実験教室（月イチリカ室）等を行います。

夏休み期間等はあおぞら広場等を活用した「天体観測会」、冬季には館内の様々な体験が自由に行える「冬休み子どもウィーク」など、子どもが楽しみながら体験学習ができるプログラムを創出します。

③自然と郷土への理解を深める体験プログラムの実施

石狩川と空知川を有する本市の歴史は水と深い関係があります。新たな施設では、更なる艇庫等の充実により、親子や初心者から上級者までが楽しめるよう、カヌーをはじめとする各種水上スポーツ・レクリエーションプログラムを実施します。

その他、施設の活動フィールドであるラウネ川の清掃活動、自然観察会、水質調査等の環境保護プログラムを実施します。

④各種指導者研修等プログラムの実施

新たな施設では、カヌーやパラカヌーサポーターの養成講習、道内海洋センター等の指導者のための、「指導員レベルアップ研修会」等のプログラムを実施します

図表 新たな施設での実施プログラム

キーワード	他／ソフトプログラム例
子どもの遊び・学び	◆図書館と連携した出張お話し会(図書館ボランティア連携) ◆体験づくりキャンプ ◆冬季雪遊びプログラム ◆スケート教室
科学体験／創作体験／映像体験	◆クラフト体験 ◆科学実験・月イチリカ室 ◆高校との連携事業
自然教育・保護活動	◆ラウネ川生き物調査(団体との連携事業) ◆渡り鳥観察会(団体との連携事業) ◆水質調査 ◆清掃ボランティア
海洋レクリエーションを楽しむ	◆マリンスポーツフェスティバル ◆特別な支援を要する児童の水上スポーツ体験、各種体験活動 ◆そらぶちキッズキャンプとの連携による難病児の水上スポーツ体験、各種体験活動
人材育成	◆防災マスター研修(滝川市防災担当) ◆養護教諭、一般教員、保育士などをを目指す学生に対する研修(大学連携) ◆パラカヌーサポーター養成講習会(障がい者カヌー協会連携)
その他地域連携等	◆地域イベント(町内会連携) ◆周辺施設(川の科学館等)と連携した1 DAYプログラム ◆滝川ふれ愛の里・キャンプ場とのイベント(指定管理者連携) ◆観光イベント(たきかわ観光協会連携)

2) 事業目標

これまでの、海洋センター、こども科学館ともに学校の団体利用が中心でしたが、急激な少子化や新型コロナウイルスの影響により活動形態にも変化が生まれ、利用者数も従前の利用者まで回復するには至っていない状況にあります。

本市は、北海道の二大都市札幌、旭川の概ね中間に位置していることから、特徴のある施設づくりや多様なプログラムの提供、周辺施設との連携を強め事業効果を高めることで、年間の施設利用者数2万人以上を目指します。また、新たな施設の整備効果による周辺施設への波及効果として、入館者数の増加も合わせて目指します。

[年間利用者目標]

2万人以上

図表 新施設での実施プログラム

機能分類	事業名	現状値		目標値		
		件数(件)	利用者(人)	件数(件)	利用者(人)	延人数(人)
子どもの遊び・学び	◇子育て・学習支援	—	—	6	240	3,790
	◇親子カヌー教室	1	36	2	50	
	◇夏の屋外ひろば開放 (水のふれあい広場/遊具の広場)	—	—	—	500	
	◇冬の屋外ひろば開放 (冬の遊び場/スケートリンク)	—	2,934	—	3,000	
科学体験 創作体験 映像体験	◇カガク教室(各種) (月イチリカ室/わくわくサイエンス/等)	12	217	12	260	15,360
	◇科学ウィーク	1	—	1	100	
	◇研修受入(市内/道内/小・中学校)	—	5,989	—	7,000	
	◇一般開放(シアター/ラボ/チャレンジエリア)	—	7,037	—	8,000	
自然教育 保護体験	◇ラウネ川/清掃・水質保全活動	1	28	1	40	150
	◇ラウネ川/水質調査活動	—	—	1	50	
	◇滝川市ラウネ川の森/植樹活動	1	41	1	60	
海洋 レクリエーション を楽しむ	◇川を知る・遊ぶ (滝川DE調べる学習体験・川コース)	1	16	2	30	2,050
	◇カヌー等体験教室(各種) (子ども/障がいをもつ方/一般)	2	13	2	20	
	◇小・中学校特別支援学級カヌー体験	1	344	2	400	
	◇カヌー大会	1	341	1	400	
	◇フェスティバル(マリンスポーツ)	1	1,077	1	1,200	
人材育成	◇研修(指導員/リーダー)	1	45	1	50	250
	◇水辺の安全教室	6	126	6	150	
	◇交流事業 (道内B&G海洋センター他)	2	27	4	50	
計		31	18,271	43	21,600	21,600

(6) 概算事業費の想定

現状で想定する概算事業費は、下表のとおりで、各種調査費、設計監理費、建築・外構等整備費の他、什器・備品等の購入費が挙げられます。

図表 概算事業費

分類	項 目	概算金額(千円)
建築	新施設新築(規模 1,000㎡)	906,370 (消費税抜き)
	既存海洋センター解体(規模 382.489㎡)	
外構	遊び場の整備	
	駐車場整備	
	歩道整備	
	排水設備	
	高木伐採・伐根・処分・整地	
	既存フェンス撤去・新設	
什器	家具	
備品	新施設備品	
	海洋センター備品	
	シアター関連備品・コンテンツ映像制作	
	ICT環境整備	
設計	建築 基本・実施設計	
関係	外構 基本・実施設計	
	解体 実施設計	
	工事管理	
調査	地質調査	
	測量調査	
	アスベスト調査(既存施設調査)	
合計(消費税10%含む)		997,007

(7) 整備スケジュールの想定

建築・外構設計は令和6年度初頭から翌年3月までとします。

施設及び外構工事は令和7年度7月から令和8年度9月を予定し、以降、供用開始に向けた準備期間に移行します。

施設運営は令和 9 年度 4 月を予定します。なお、既存施設の解体は機能移転後の令和 8 年度 7 月からを想定します。

図表 事業スケジュール



参考資料 1. 先進事例の調査

(1) 調査対象事例

本構想では、艇庫の改築に合わせ、子どもの教育や可能性を広げる複合施設として再整備するにあたり、その参考とするため先進事例調査を行いました。

調査対象は、子ども関連施設（体験/科学教育）、艇庫（海洋レク）、子どもの遊び場（屋外遊具ゾーン）等、下表の施設を対象としております。

分類	施設名	概要
子ども施設 (体験・科学教育)	AkeruE (Panasonic Creative Museum)	所在 東京都江東区有明 3 丁目 5 番 1 号 概要 STEAM ワークショップ/科学体験/アート体験/他
	港区立みなと科学館	所在 東京都港区虎ノ門 3-6-9 概要 プラネタリウム/サイエンスショー/実験室/気象科学館/他
	IMAGINUS	所在 東京都杉並区高円寺北 2-14-13 概要 科学体験ラボ/サイエンス WS/カルチャー WS/カフェ/集会場
	ENNICHI by1→10 (AQERU 前橋)	所在 群馬県前橋市表町 2-30-8 概要 映像技術+日本伝統文化 (ENNICHI1→10) を含む複合施設 (貸会議室/書店等商業テナント等)
艇庫 (海洋レク)	阿南市 B&G 海洋センター複合型施設「うみテラス北の脇」	所在 徳島県阿南市中林町原 23 番地 1 概要 艇庫/研修室/多目的室/休憩室/等
子どもの遊び場 (屋外遊具ゾーン)	リホビタンキッス PLAYLOT by BorneLund (北広島 F ビレッジ)	所在 北海道北広島市 F ビレッジ 1 ES CON FIELD HOKKAIDO 1F FIELD LEVEL 概要 屋外ゾーン (アドベンチャーフィールド) ネット遊具/砂場/複数人で遊ぶ遊具/回転遊具/等
	南幌町子ども室内遊戯施設「はれっぱ」	所在 南幌町美園 3 丁目 1 南幌中央公園内 概要 通年遊戯施設 屋外ゾーン コンビネーション遊具/水遊び場/他
施設の環境設備 (ZEB)	北栄町北条 B&G 海洋センター	所在 鳥取県東伯郡北栄町田井 428-1 概要 太陽光発電/蓄電システム/非常用発電設備/木質バイオマスボイラー/等
	古平町複合施設「かなえ-る」	所在 古平町大字浜町 50 番地 古平町役場 概要 ZEB 化施設事例 (庁舎+集会所+図書館)

(2) 本構想へ反映すべき事項等

1) 体験・科学等のコンテンツ事例

子どもの体験活動や科学教育に関連する施設事例より、本構想へ反映すべき事項は以下が挙げられます。

＜本構想への反映＞

- ◆知る | 興味から科学を知る科学展示／サイエンスショーなどの導入検討
- ◆創る | 工作機器を使い発想をかたちにする“ものづくりワークショップ”などの導入検討
- ◆工夫する | 遊びながらチャレンジでき思考力や工夫が身に付くコンテンツの導入検討
- ◆創造する | 見る／学ぶ映像体験の他、映像機器を活用し想像力を育むコンテンツの導入検討
| 創作意欲を具現化する機器を活用した創作プログラムの導入検討



■PHOTON/AkeruE

・複数の参加者それぞれの考えや作品を写真や動画・アニメーションにして大画面で視聴。作成のポイントやヒントを共有する参加協働型コンテンツ。



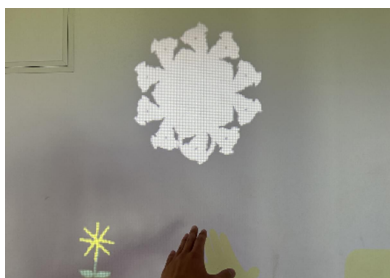
■サイエンスカフェ/港区立みなと科学館

・施設内の「実験室」で行われるサイエンスイベント。通常ものづくりワークショップ等が行われるが、イベント企画の場としても活用されている。



■サイエンスショー/IMAGINUS

・1日8回90分のサイエンスショーを開催。視察時の参加者は5名であったが、休日は多くの参加があるとのこと。



■エントランス展示/IMAGINUS

・ユビサキに咲く | センサーが手の位置を検知しオリジナルの花を咲かすコンテンツ。入館した子どもの関心や興味を引き出している。



■科学展示/IMAGINUS

・イグノーベル賞 | 科学への興味を喚起する研究等を展示。写真は「パンを落とした時ジャムが塗ってある面が必ず下になるのは何故?」



■ものづくりラボ/IMAGINUS

・ラボで一番の人気プログラム。レーザーカッターを用いオリジナルのキーホルダーを作成。作成に係る所用時間は約5分程度と取組やすい。



■体験エリア/IMAGINUS

・ブロックで一番速い車・遅い車を制作するアメリカ発祥のナーティーダービー形式のコンテンツ。遊びながら発想力/思考力/工夫が身に付く。



■アルケミストプログラム「であう/つくる/発表する」/AkeruE

・「自分のやってみたい」という情熱を、自分の力でかたちにする探求プログラム。参加を通じて多くの人と出会い、レーザーカッターや木工器具など、様々な道具を活用したものづくりを行う。また、事例では子どもから大人まで一緒になった展示や発表会を行っている。

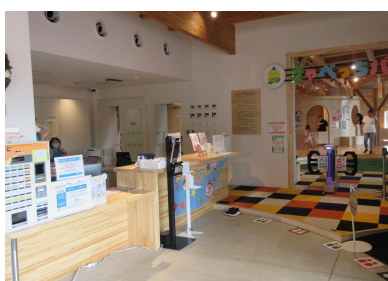


2) 施設機能に関する事例（子ども体験施設・艇庫関連）

子どもの体験施設や、艇庫に関連する施設事例より、本構想へ反映すべき事項は以下が挙げられます。

＜本構想への反映＞

- ◆ゾーニング | 受付を介した有料ゾーンと無料ゾーンの設定、利用料徴収の仕組みの検討
| カヌーや遊びの広場など屋外ゾーンと面した休息/見守りスペース配置の検討
- ◆サポート機能 | 子どもや親子の憩いの場として乳幼児等を含む利用者への施設的な配慮
| 様々なコンテンツを自由に楽しめるよう「ロッカースペース」などのサポート機能の設置
- ◆艇庫 | 多人数（100人規模）の出艇/レクチャー/収納に対応する機能面での配慮
| 屋外活動（カヌー体験）を考慮したトイレ/シャワー/更衣室等の必要機能の配置



■施設受付／南幌町「はれっぱ」

・エントランス受付。右側が有料ゾーン、左側が無料ゾーン。利用料は券売機で購入し受付で手続き、有料エリアにはゲートが設置されている。



■もりのカフェ／北広島Fビレッジ

・屋外遊具広場に面した休憩スペース。外遊びの合間の休憩や、子どもの見守りスペースとして機能する配置となっている。



■授乳室「mamaro」／AQERU前橋

・施設内の授乳室。利用者の要望から設置された完全個室のベビーケアルーム。書店スペースの一角に設置。



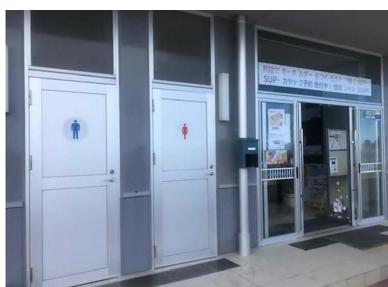
■ロッカーコーナー／IMAGINUS

・施設内に設置されているロッカーコーナー。手荷物や貴重品の管理を気にせず活動が出来る便利。



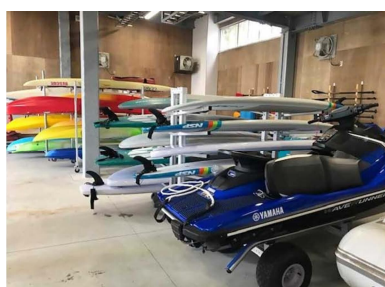
■展示コーナー／港区立みなと科学館

・写真は「宇宙」をテーマとした小・中学生による絵画等の作品展示の様子。夏休みに全国公募で宇宙に関する好奇心や想像力を育成することを目的に実施。



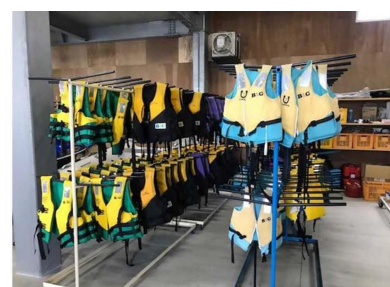
■トイレ／阿南市B&G海洋センター

・屋内トイレの他、屋外からも利用できるトイレを設置。カヌー体験時は大半の方に利用されている。



■艇庫（カヌー／ライフジャケット）／阿南市B&G海洋センター

・艇庫はさほど大きくはないため効率的に収納。各ラック類は職員の手作りでキャスターが付いていることから移動が容易。参加多数時でも出艇準備や収納に対応しやすい。ラックを移動し艇庫をヨガ教室等で使うこともある。



3) 屋外の遊具等に関する事例

子どもを対象とする屋外広場を有する施設事例より、本構想へ反映すべき事項は以下が挙げられます。

＜本構想への反映＞

◆感覚の醸成 | 幼児（親子）も一緒に楽しめる遊具の設置検討

| 遊びながら五感を刺激する遊具の設置検討

◆身体能力向上 | 手足を使った全身運動や、バランス感覚を養える遊具の設置検討

◆コミュニケーション | 遊具を介し子ども達が遊びながらコミュニケーションが図れる遊具の設置検討

◆冬の屋外遊び | 子ども達の通年利用施設として、屋外広場の通年利用の検討



■小さな子どもや親子で遊べる遊具／北広島Fビレッジ

・ 幼児が親と共に楽しめるブランコ。水や砂が指先に触れる感触や砂が変化の様子など五感を刺激する砂場。

■親水広場／南幌町「はれっば」

・ 幼児でも安全に水の感覚を体感できる低水面の水の遊び場。



■身体運動やバランス運動を取り入れた遊具／北広島Fビレッジ

・ 遊びの中で手足を使った全身運動やバランス感覚が養える遊具。



■みんなで遊べる遊具／北広島Fビレッジ

・ 初めて出会う子ども同士が交流しながら一緒に遊べる遊具。心地よい体勢で揺れや回転あそびが出来、安全面も考慮されている遊具。

■冬の外遊び／北広島Fビレッジ

・ 雪を利用した宝探しゲームの様子。小さい子も参加できる雪遊び

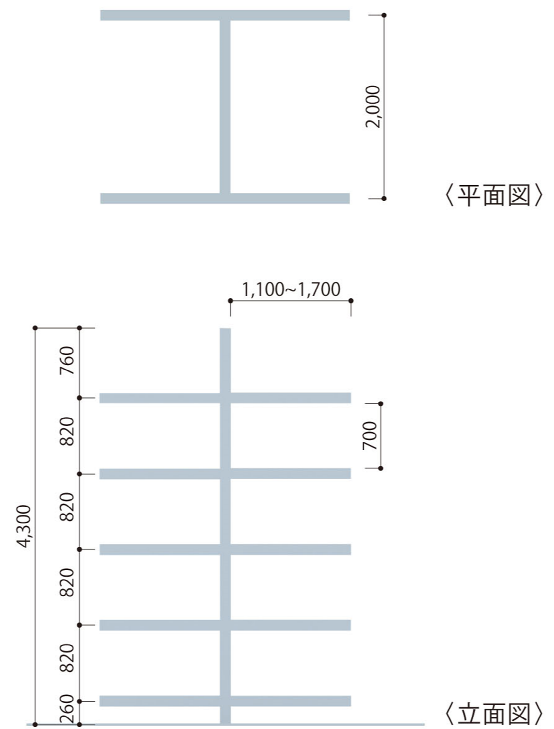
参考資料 2. 艇庫・船架台配置イメージ

表 配架舟艇器材一覧

種類	配架数量
シングルカヌー	33
ペアカヌー	14
シングルカヌー（大）	9
ペアカヌー（大）	12
ローボート	12
セールボード	3
OP ヨット	13
サボット	1
K-1	15
ジュニア用 K-1	5
パラ K-1	2
C-1	2
K-2	3
マリブ	3
バナナボート	1
SUP	5
救助艇（船外機付きゴムボート）*	2
救助艇（水上バイク）*	1

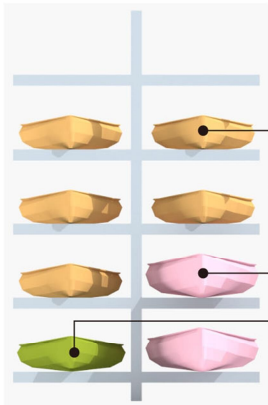
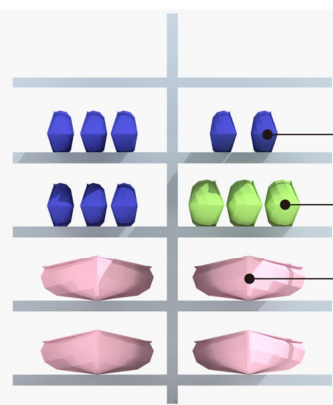
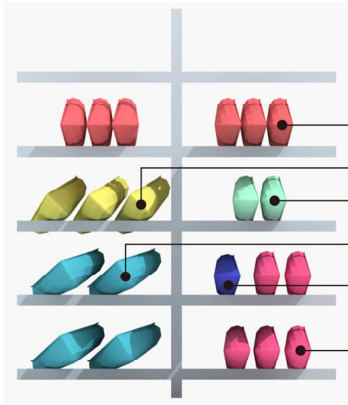
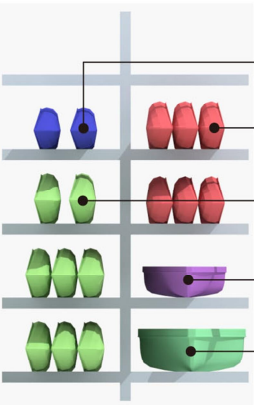
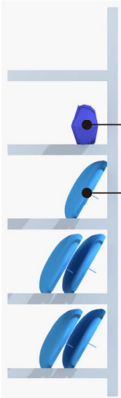
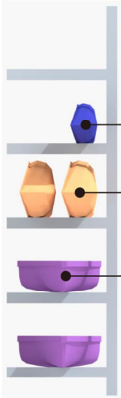
*救助艇は通路に保管するものとする

舟架台基本寸法



舟架台配架イメージ

舟架台① OP ヨット ローボート	舟架台② シングルカヌー OP ヨット ローボート
舟架台③ バナナボート シングルカヌー（大） ペアカヌー（大）	舟架台④ シングルカヌー K-1 ペアカヌー

舟架台⑤  OP ヨット ローボート サボット	舟架台⑥  K-1 K-2 ローボード
舟架台⑦  シングルカヌー シングルカヌー (大) パラ K-1 ペアカヌー (大) K-1 ジュニア用 K-1	舟架台⑧  K-1 シングルカヌー ペアカヌー マリブ アクセスディンギー
舟架台⑨  K-1 SUP	舟架台⑩  K-1 C-1 マリブ

舟架台配置イメージ (平面図)



舟架台配置イメージ (アクソメ図)

